

下妻市定例教育委員会（令和４年１２月２３日）会議録

１．開催日時	令和４年１２月２３日（金） 午後３時００分 開会 午後４時０５分 閉会
２．開催場所	下妻市役所千代川庁舎 ２階 第二会議室
３．出席委員	教 育 長 中山 均 教育長職務代理者 齊藤 修一 委 員 青木 由美 委 員 赤荻 由美 委 員 山口 政志
４．委員以外 の出席者	教育部長 倉持 総男 教育部参事 圓崎 佳江 学校教育課長 國府田 聡 生涯学習課長 佐久間 秀樹 公民館補佐 中久喜 朋昭 図書館補佐 齊藤 定子 学校教育課長補佐 板橋 孝子 学校教育課係長 北沢 祐一
５．議事録署名人	齊藤 修一委員
６．協議事項 及び研修	（１）下妻市就学援助事務実施要綱の一部改正について
７．議事の概要	
教育長	<p>１２月の定例の教育委員会を始めます。本日の議事録署名は齊藤委員さんをお願いいたします。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>諸般の報告を各課からお願いします。</p> <p>【指導課から報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の小中学校合同英語フォーラムについて ・中学校区ごとに小中学校の英語での交流 ・大子町の小学校とのオンライン英語交流
齊藤委員	
教育長	
参事	

	<ul style="list-style-type: none"> ・広報しもつま12月号「シリーズ学校の未来を考える③」で、英語教育の取り組みについて掲載
教育長	学校教育課から、お願いします。
学校教育課長	【学校教育課から報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・青木委員の再任について ・第4回市議会定例会の一般質問について ・市町村教育長教育委員研究協議会について ・総合教育会議の開催について
教育長	生涯学習課からお願いします。
生涯学習課長	【生涯学習課から報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・はたちのつどいの申し込み状況について
教育長	図書館公民館から、お願いいたします。
公民館長補佐	【公民館から報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・公民館まつりの開催について
教育長	図書館から、お願いします。
図書館長補佐	【図書館から報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館通信令和5年1月号の発行について
教育長	続きまして、議案の方に入りたいと思います。 議案第19号、下妻市就学援助事務実施要綱の一部改正について、 お願いします。
学校教育課長	【学校教育課から資料により説明】 <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助事務の様式の整理をして、保護者、事務職員の負担軽減を図るもの。令和5年1月1日施行。
教育長	ただいまの説明について、ご質問等ありましたらお願いします。 特にないでしょうか。 ないようでしたら、ご承認いただけますか。

教育委員	【承認】
教育長	では議事の方は、以上です。諸般の報告も含めて、ご質問等、ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。今年最後になりますので、委員の皆さんから、一言ずつお願いします。
山口委員	振り返りさせていただきますと、様々なものが切り替わっていく中で、部活動、文化部は無くなってしまうのですかなど、市民の方からも質問を受けることがありました。なくなるということはなく、どういう方向になるか、まだ、今のところ検討中であることを伝えさせていただきました。また、コミュニティスクールについても、質問をいただくことがあり、今までなかった質問をどんどんいただいて、市民の方の関心も高いと感じています。
教育長	部活動についてですが、今、学校部活動は土日もやっていますが、今後は、土日については、クラブ等を作って地域の方に指導者をしていただくという地域部活動に移行していく流れです。平日は学校部活動、土日は地域部活動という呼び方をしています。土日についての部活動の意向は、決定権は生徒の方にあるということになります。文化部でも吹奏楽部などは、おそらく運動部活動と同じように、現状でも休みの日も練習をやったりしていますので、土日クラブチームを立ち上げて活動するような方向になるのではと考えています。土日は、教員が指導者を希望しない場合は、地域の指導者を用意して地域部活動が出来るように考えています。
参事	11月の下旬に、第2回の部活動の検討委員会を行いました。それを受けて12月の初めに、小学生が中学校に上がるご家庭の学校説明会で、部活動が変わっていきますという話を、中学校の方から6年生の保護者や6年生にさせていただきました。地域部活動になっていくと、特に大きく子ども達やご家庭が心配することとして何が変わるのかというと、今までは、部活動に部費は払っていますが、改めて今度は会費のようなものが発生していくということ、なぜなら指導者は学校の先生ではなくて地域の方なので、その会費によって謝金を払うことになるからという説明をしました。また、学校の教育活動であれば保険も学校の保険でいいわけなんです、学校の教育活動ではなくなるために保険に入ってください必要があります。地域部活動で教員が指導者になる場合であっても、教員の立場では

	<p>なく、地域の指導者という立場に関わるようになるという話を保護者の方、子ども達に12月にさせていただいております。今後、地域部活動推進事業というような名称で、市内で各中学校1つぐらいモデル事業のようなものを検討しておるところで、具体的な部分は、今後、話し合いの中で状況を見ながら決めていくということになっています。来年度8月ぐらいにその事業をスタートできればと、現在、進めているところです。以上です。</p>
教育長	<p>地域に移行した時の大きな課題は、休日の指導者を見つけることかと考えています。委員の皆さんにも、ご協力いただきながら人材発掘をお手伝いいただければと思います。</p>
齊藤委員	<p>実際には、課題も多く、始まって見ないとわからない部分などもありますね。</p>
教育長	<p>そうですね。現在、部活動指導員の県の委託事業を、市で取り入れて、下妻で2人の方に指導員をやっていただいています。各学校に1人ずつは、つけようかなとも年度当初は思ったんですが、なかなか受ける方のハードルが高いようで、責任が重いなど、引き受けてもらえないところもあるのが現状です。指導者の保険なども、怪我の保険だけでなく、トラブルになった時の保険など、そういうところも考えないと、なかなか引き受けてくれる方が見つからない。制度的に、そこまで補償してますというのがないと、受けてくれる方がいないのではという感じがしています。</p> <p>もう1つのコミュニティスクールなんですけども、今、準備段階のところ、学校評議員というのが各学校にあって、そこを部活動が平日から土日に移行するのと同じように、今ある組織をコミュニティスクールの方に移行すればスムーズにいくのかなと考えています。新たな組織を立ち上げるのではなくて、今あるもの、下妻では地域教育推進委員と呼んでいますが、その組織をいかしてコミュニティスクールの方に移行出来ればということで取り組んでいます。予定では来年度、パイロット校を何校か立ち上げたいというふうに考えています。学校と地域の協働活動をするというところを目的にしたいと考えています。学校で困っているところに地域の方にお手伝いいただく、学校に色んな形で入っていただいて教育活動を手伝っていただくという、そんなところを中心に出来ればいいのかなと考えています。今、準備をしているところです。</p>

生涯学習課長	10月に生涯学習課の方で、各校長先生方に、色々、相談にお伺いさせていただきました。それを受けまして、1月の校長会の時に、また、今後についてお話をさせていただくということで、進めています。学校現場で色々なお話を聞かせていただいていますので、よりいい方向に持っていければというふうに努力していきたいと思っています。以上でございます。
山口委員	ありがとうございます。
教育長	では、次に赤荻委員さん、お願いします。
赤荻委員	コミュニティスクールについても、地域創生で、地域活性化の中心となるところが学校になってしまうところかなと思います。地域の活動を学校の活動といっしょにやっていくというところがコミュニティスクールの主体とするところであるのかなと思います。が、保護者の方からすると、学校運営とか学校経営みたいな部分も、保護者の意見は出せるんじゃないかと思われてる方が非常に多いと思います。教育に熱心な保護者の方だと、自分の学校に対する期待を実際の教える教育現場にまで持ち込もうというふうな傾向も懸念されてくるのかなと思います。でも、コミュニティスクールだったり、部活の地域化というものが、そもそもは、地域の活性化というところから始まったというところを良く説明して認識してもらう必要があるのかなと思っています。実際の教育活動という部分については、学校の先生がプロですから、そこは任せるべきだし、それがないと教育の均等とか、機会の平等とか、そういったところを目指して作り上げてきた教育課程が崩されるということにもなりかねないと思います。そこは教育委員会もきちんと意識して進めていかないと感じています。教育委員会の中で共通の認識とか意識というのを持って、意見交換を密にしてやっていければと思いますので、よろしくお願いしますと思います。以上です。
教育長	青木委員さん、お願いします。
青木委員	感想になります。コロナになってから、音楽会や陸上競技会がなくなったり、運動会が変更になったり、子ども達がかawaiiそうだなという気持ちだったのですが、今回、学校訪問に行かせてもらった時

	<p>に、学校は前を向いて進んでいるんだなと感じました。先生方のご努力もそうですし、子ども達も変化する状況に対応して、それぞれ現状を吸収して、学校を楽しく過ごせているんだと思って、嬉しくなりました。先生方のご努力、本当にありがとうございました。</p> <p>また、給食をいただいた時、黙食というのは、大変だなと感じました。今度は、報道でもあるように黙食はやらなくていいよと言われても、子ども達はとまどうだろうなとも思います。それでも子ども達は、また楽しいことを見つけて進んでいくのだろうとも思います。朝、子ども達の元気な登校の姿を見て、来年もまた楽しませていただこうと思っています。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>今年は、修学旅行にしても、過去2年間行けなかったところが、今年行けるようになったということで、一歩前進出来た年かなと思っています。コロナ禍と学校行事について、また給食等について、何か國府田課長からありますか。</p>
学校教育課長	<p>黙食につきましては、我々、2つの意見をいただいています。子供達の楽しみを奪うなというようなご意見もいただいていますし、あとはコロナ禍においてしゃべることは適切ではないんじゃないかというようなご意見もいただいています。今、国の方でも、国の考えが示されていますが、実際、今のコロナの感染状況、市内の感染状況を簡単に申し上げますと、ここ3週間で爆発的に増加しました。第8派の影響ですので、学級閉鎖等も実施したりして対応していますが、何が原因で広がっているのかは全くわからないのですが、近くの席の子ども達に広がっているような状況も見受けられます。昨日、校長会におきましても、黙食について色々協議しましたが、今、緩和というような動きは出てますが、現状、実際、教室の席が近い状況があったり、コロナが爆発的に感染が拡大してる状況もあるので、新年1月以降に向けて引き続き検討が必要で、ただ方向としては、段々、緩和には向かっていくんでしょうけど、今すぐには難しいのかなということです。検討は引き続き学校と一緒にしていきたいなと思っています。千葉県あたりはガイドラインを見直して黙食緩和するようなことを知事が発表したようですが、今のところはそこまでは至ってないのですが、検討を進めているという状況でございます。</p>
教育長	<p>図書館公民館では、今年、コロナ禍から一歩踏み出したようなところ</p>

	ろがありましたら。
公民館長補佐	公民館では、今年の7月1日から今まで利用者の人数制限を定員の半分で制限していましたが、それを撤廃しまして、本来の定員に戻して今現在行っております。ここ2ヶ月間のことですが、従前のコロナ前と同じような感じで、千代川公民館のホールにつきましては、保育園のお遊戯会とか、社会人のカラオケの発表会、あとコンサート等も予定通り開催を出来るようにして参りました。ほぼコロナ前と同じ利用の予約は入っております。1月2月につきましても、土日はほとんど予約がいっぱいになっている状況です。市内の他の施設、大宝公民館とか、市民センターにつきましても、だいたい戻りつつあるような雰囲気になっております。以上です。
教育長	図書館、お願いします。
図書館長補佐	<p>演奏ホールや集会室、会議室の人数制限は、今年3月24日付で撤廃をいたしました。現在は、定員それぞれ制限なしでご利用いただいている状況です。ただ読書室におきましては、仕切りがないところについては若干、大きなテーブルの端と端とか、そういうふうな配慮をしているところでございます。昨年度までは、イベントごとは、ほとんど中止延期という形をとらせていただいたんですけども、令和4年度に入りましてからは、コロナ前通りという形です。ただ図書館まつりだけは、規模を縮小しまして一部開催ということでさせていただいてます。主なものは、特別お話し会や、小さいお子さんを対象にした工作ですとか、そういったことを人数を限定しまして開催しております。その他、新しい試みとしまして夏場、夜間に開催しました恐〜いお話し会、こちらの方は大変好評をいただきました。また、本日なんですけれども、ぬいぐるみのおとまり会というのを計画しております。</p> <p>あともう1つとしましては、今、構想の段階ですが、下妻市もDX化ということで推進しておりますので、出来れば図書館としましても学校向けの自動図書館など導入出来ればと考えています。財政的な面もありますので、引き続き図書館としては、そういう構想をすすめながら、関係各課と相談しながら検討していきたいと思っております。図書館としては、以上です。</p>
教育長	ありがとうございました。齊藤委員さん、お願いします。

齊藤委員	<p>今年1年お世話になりました。ありがとうございました。コロナが蔓延してきた2、3年の間にだいぶ変わってきたなという印象を受けます。その間に教育委員会からも小中学校へ、色んな対応をしてくださったことに本当に感謝申し上げます。それで地域の活力というのを期待してということなんでしょうけど、先ほど話した地域部活動にしても、コミュニティスクールにしても、地域の人材というのが、これから大事になってくるのかな、人材がいないと動けないというところがあると思います。今後もまだまだスムーズに移行出来るかというのは、難しい部分もあり、いろいろな課題があると思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。あと2学期制についての定着がされて、2学期制にして良かったなという状況も感じますし、この2学期制の良さが我々だけじゃなく、子ども達にも浸透していけばいいのかなと思っています。以上です。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。令和4年、色々とお世話になりました。その他、事務局からありますか。</p>
学校教育課長	<p>【事務局から報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県西地区市町村教育委員会連絡協議会の研修意向について ・ 次回の定例会の日程について
教育長	<p>それでは以上をもちまして教育委員会を閉じさせていただきます。</p>